

第1部会【市民協働部門】 会議概要録

【開催概要】

- 名称：平成28年度 第4回 東区自治協議会 第1部会
- 日時：平成28年7月15日（金）午前10時～午後1時
- 場所：東区役所 会議室A
- 出席者：五十嵐委員、長谷川委員、折笠委員、作左部委員、金胎委員、大橋委員、佐藤委員、若槻委員
（事務局）地域課

【審議内容】

1 防災ミニ講座

若槻委員から、雨露をしのぐ方法（テントの設営、ブルーシートで簡易テントづくり、ごみ袋でポンチョ）について、実演をしながらの説明がありました。

2 東区自治協議会委員研修会について

7月14日（木）に開催した研修会の県立大学生とのワークショップの振り返りを行いました。（詳細は「資料5」のとおり）

ワークショップをスムーズに進行するために、学生へ事前にテーマを伝えたほうがいい、ワークショップで出た意見を今後の自治協議会の活動にどう繋げていくかを自治協議会全体で考えていかなければいけない、という意見が出ました。

3 地域防災推進事業第1回研修会について

6月22日（水）に開催した研修会の振り返りを行いました。（詳細は「別紙」のとおり）

この研修会を通して、防災士の方々が、地域活動の中核である地域コミュニティ協議会内で十分な活動ができていないなどの課題が見つかり、さらなる地域内連携の必要性を、参加者で共有しました。また、地域全体（東区全体）で考える減災対策の必要性も共有しました。

これを受け、課題解決のための方策について検討し、下記の2案の提案がありました。

【課題解決策】

（案1）12のコミュニティ協議会（自治・町内会、自主防災会、防災士を含む）からなる組織を立ち上げ、防災について地域全体（東区全体）で意見交換したらどうか。

（案2）12のコミュニティ協議会の会長が出席する地域コミュニティ協議会連絡会（隔月開催）の場を活用し、コミュニティ協議会（会長）と、防災研修会を通して見つかった課題を共有するところから始めたらどうか。

※新たな組織は立ち上げない。

4 提案事業検討部会の報告

長谷川副部長から提案事業検討部会の報告があり、下記のとおり検討しました。

(1) 新庁舎誕生5周年記念プロジェクトについて

第1部会が企画担当する「東区自治協議会の紹介パネル」について、内容を検討しました。コミ協と自治協のパネルを一体的に展示する工夫をしたらどうか、パネル展示の他にマンホールトイレ等を設置したらどうか、という意見が出ました。

(2) 東区を紹介するデジタル紙芝居の修正について

修正版の作成枚数および予算について確認しました。

【次回開催日】

日時：平成28年8月10日（水）午前10時～

会場：東区役所会議室A

地域防災推進事業 第1回研修会 意見交換内容

テーマ：発災後3日間の「自助」・「共助」について～それぞれが担う役割～

◆自治協議会委員

- 自治会・コミ協の役員と出来るだけ速やかに連絡をとって情報交換し、対策を協議する。
- 自助・共助の意識を持ち、コミ協から個人への流れがスムーズにいくようパイプ役になる。
- 自治会間で防災に関する知識を共有し合う。
- 災害時における地域ネットワークの事前確立
- 他のコミ協の防災・減災活動について情報を把握し、自らの地域の活動の参考となることがあれば、地域の防災リーダーに伝える。
- 普段から隣近所の関係づくりができるよう活動をサポートする。
- 子ども達や若い層の声を吸い上げられるよう心がける。

◆防災士

- 避難所において講習会で学んだ技能や知識を活かす。
- 防災士と言っても高度な専門的知識や経験があるわけではないので、地域防災リーダーのトップへの助言や手助け等を行う。
- 地域において防災士の役割を明確に定めておき、それに沿った活動をする。
- 各自で知識を深めるとともに、コミ協・自治会との連携を図り、地域の人と直接関わり行動する機会をつくる。
- 防災・減災に向けて勉強会を開催し、平時から備える。
- 安心安全部会に必ず所属し、3年以上継続することで資格を活かす。

◆地域関係者（コミュニティ協議会会長、防災担当者）

- 行政からの情報把握、自治・町内会における災害・被災状況の把握
- 災害に関する細密な情報収集と、その伝達体制をしっかりと構築する。
- 自治会・コミ協の役員と連絡をとることも優先し、情報を地域の人に伝達する。
- コミ協がまとめ役となり、発災時にすぐ対応できるよう具体的に組織化していく。
- 自主防災会イコール自治会に一本化して、情報伝達や指示系統がスムーズにいくようにする。
- 各自治会での備蓄は限りがあるため、個人や家庭での備蓄、自助の意識を平時から促す。

◆その他

- 防災士とコミ協が少し繋がったことは、ほんの少しの前進。
- コミ協に防災士も入るべき。
- 防災士の組織はどうなっているか、仲間の名前だけでも知りたい。
- 防災士の資格をとってもどうしたらよいのか、共助の方法を知らない人がいるので、きちんとした組織化を図って、共助活動をできるようにしてほしい。
- 自主防災組織は組織の中心となる人材の確保が大変であり、結成しっぱなしではなく、絶えず検討運営して、生きた組織にしていく必要がある。
- 防災・減災対策の活動の核は、自治・町内会の自主防災組織であるべき。
- 大学生と自治会との繋がりが少ないことが問題である。

第2部会【福祉・教育・文化部門】会議概要録

【開催概要】

- 名称：平成28年度 第4回 東区自治協議会 第2部会
- 日時：平成28年7月20日（水）午後2時～4時
- 場所：東区プラザ 音楽練習室1
- 出席者：吉田委員、本望委員、荒木委員、佐藤（恵）委員、大江委員、山田（久）委員、山田（フ）委員、井川委員（事務局）地域課、教育支援センター

【審議内容】

1 東区自治協議会委員研修会について

7月14日（木）に開催した研修会の振り返りを行いました。（詳細は「資料5」のとおり）

学生から多くの意見を引き出すために、テーマからさらに焦点を絞って意見を聞く必要があった、学生の学習スペースや気軽に集まれる居場所を作っていく必要がある、という意見が出ました。

2 「東区まちの魅力発見事業」について

(1) 東区めぐり子どもバスツアーについて

事務局から、東区めぐり子どもバスツアーの申込み状況について報告があり、当日の流れや役割分担について確認しました。また、8月4日（木）は、大学の試験期間と重複しており、大学生の参加が難しいことから、今回は大学生の参加を見送ることになりました。

(2) 第2・3回目東区めぐりツアーについて

第2回目ツアーについて、ツアーを共同で企画する東区歴史浪漫プロジェクト実行委員会での協議結果の報告があり、開催日は10月29日（土）に決定しました。

また、第3回目ツアーの開催日や訪問先について協議し、11月11日（金）を第一候補日としたほか、次回の部会でコース案について検討することにしました。

3 提案事業検討部会の報告

吉田部会長から、提案事業検討部会の報告があり、下記のとおり検討しました。

(1) 「東区の宝を磨く！新庁舎誕生5周年記念プロジェクト」について

第2部会では、「東区を紹介するデジタル紙芝居の紹介」のほか、8月4日（木）に開催する東区めぐり子どもバスツアーの様子をパネル展示することにしました。

(2) 東区を紹介するデジタル紙芝居の修正について

修正版の作成枚数について、東区教育支援センター所長より、小・中・特別支援学校分は教育支援センターで予備を保管し、必要に応じて貸し出してはどうか、という意見があり、作成枚数を合計30枚とすることについて、第2部会として承認いたしました。

【次回開催日】

日時：平成28年8月17日（水）午前10時～
会場：東区プラザ 音楽練習室2

【開催概要】

- 名称：平成28年度 第4回 東区自治協議会 第3部会
- 日時：平成28年7月14日（木）午前9時～11時15分
- 場所：東区役所 会議室B
- 出席者：西方委員、國兼委員、宮嶋委員、音田委員、小林委員、井上委員、水嶋委員
（事務局）地域課、総務課
株式会社グリーンシグマ（審議内容1のみ）

【審議内容】

1. 「東区の公共交通に関する実態調査」について

調査業務を受託した株式会社グリーンシグマの担当者から、業務計画書やアンケート調査にかかる必要標本数、アンケート内容について説明を受けました。その後、調査票の各設問を確認し、委員で意見交換を行いました。また、発送前には各コミ協の会長へ事前に周知することとしました。

次回の部会は、調査票案の最終確認を行い、その後に発送する予定としています。

2. 提案事業検討部会で協議された内容について

（1）新庁舎誕生5周年記念プロジェクトの自治協議会事業について

第3部会が企画担当となっている「③東区の大規模交通拠点の概要の紹介」について意見交換を行いました。港、空港、JR基地（新幹線・貨物）の各所管部署に対して、事業概要を説明した上で、PRのための資料を提供してもらい、次回の部会でその資料を精査していくこととしました。

（2）東区を紹介するデジタル紙芝居の修正について

事務局から説明があり、修正版の作成枚数について了解しました。

【その他報告事項】

1. 東区バス社会実験「紫竹・江南ルート」について

事務局から、運行ガイドが配布され、事業概要について説明がありました。

【次回開催日】

- 日時：平成28年8月12日（金）午後1時30分～
- 会場：東区役所 会議室A